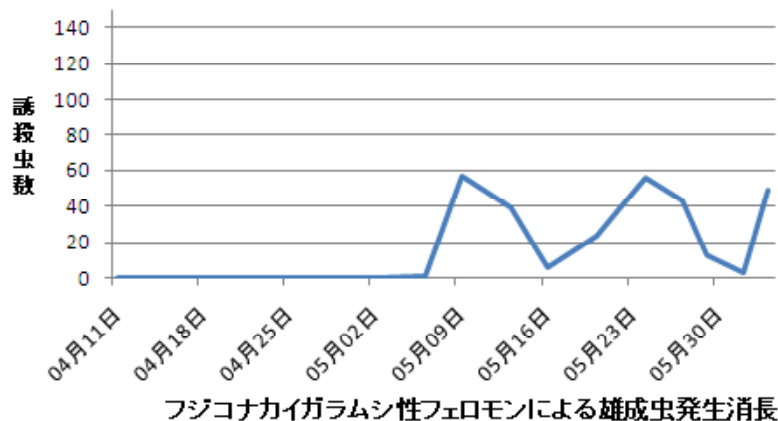


フジコナカイガラムシ情報

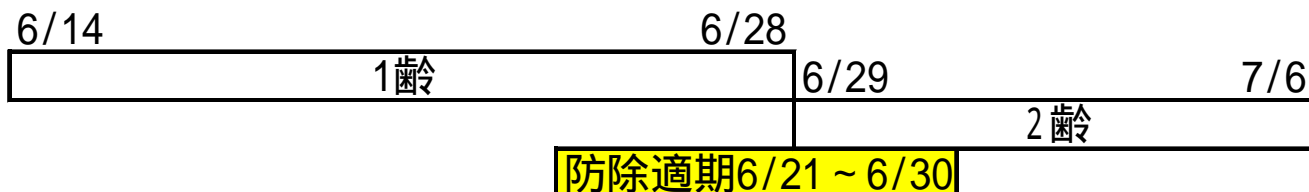
2011年6月10日
島根県病害虫防除所

予想防除適期：6月21日～6月30日（6月10日計算）～
対象地区：出雲市（県西部は出雲市の予測より4～5日早くなります）

予測の根拠：フェロモントラップを出雲市東福町のカキ園に4月6日から設置しフジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の誘殺数の上昇は5月9日に認められた。



誘殺数が上昇し始めた5月9日を起点とし平均気温（6月5日までは2010年の気温、それ以後は平年値）を用いて次世代（第1世代）の発生時期を予測すると1齢期6月14日～6月28日、2齢期6月29日～7月6日となり、防除適期は6月21日～6月30日と推定された。



参考：フジコナカイガラムシ防除の最も重要な防除時期は第1世代の若齢幼虫期とされている（例年6月下旬）。フジコナカイガラムシの性フェロモンによる発生状況と発育データを使って今後の発生を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も引き続き雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。

なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。